

平生町 内水 ハザードマップ

内水ハザードマップは、平生町で想定される浸水や災害が起こった時に必要な情報を示しています。いざというときに備えて、このハザードマップをご活用ください。

●わが家の防災メモ

| | | |
|------------------------|-------------|---|
| わが家の避難場所 | 避難場所までの移動時間 | 分 |
| 家族の集合場所(避難場所で見えなかった場合) | 避難時の緊急連絡先 | |

●家族の連絡先

| 家族の名前 | 血液型 | 会社・学校の連絡先 | 携帯電話番号 |
|-------|-----|-----------|--------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

災害用伝言サービス 地震や浸水などの大災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が続くことがあります。このような場合は、以下のサービスが開設されます。

災害用伝言ダイヤル 171

災害用伝言ダイヤル(171)は、大規模な災害が発生したときの「声」の伝言板です。電話を用いて安否情報(伝言)の録音・再生を行うことができます。

171をダイヤル

録音は**1**をダイヤル 再生は**2**をダイヤル

被災地の方も、被災地以外の方も **被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル**

伝言を入れる 伝言を聞く

災害用伝言板 (web171)

スマートフォン・携帯電話・パソコンから災害用伝言板(web171)にアクセスすることで、テキストによる安否情報(伝言)の登録・確認を行うことができます。

下記URLへアクセスし、案内に従って操作してください

<https://www.web171.jp/>

※上記の他に携帯電話各社から「災害用伝言板サービス」が提供されます。利用方法については各社ホームページ等で確認ください。

災害用伝言ダイヤル(171)・災害用伝言板(web171) 体験利用日

▶毎月1日と15日▶正月(1月1日～1月3日)▶防災週間(8月30日～9月5日)▶防災とボランティア週間(11月15日～11月21日)

【発行】平生町役場 〒742-1195 山口県熊毛郡平生町大字平生町210-1 TEL.0820-56-7118(建設課) 令和7年3月作成

情報の入手先

平生町の防災メール配信
平生町では、広報車の巡回のほか、様々な方法で防災情報を発信しています。

平生町防災メール(気象情報、防災情報が配信されます)

平生町では、防災に関する情報等を登録者の携帯電話等にメールで一斉配信するサービスを提供しています。

e-hirao@xpressmail.jp に空メールを送り、説明に従って登録してください。

※携帯電話、パソコンなど、メールアドレスがあれば誰でも登録できます。詳しくは、平生町ウェブサイトをご覧ください。

空メール送付先

インターネットから取得

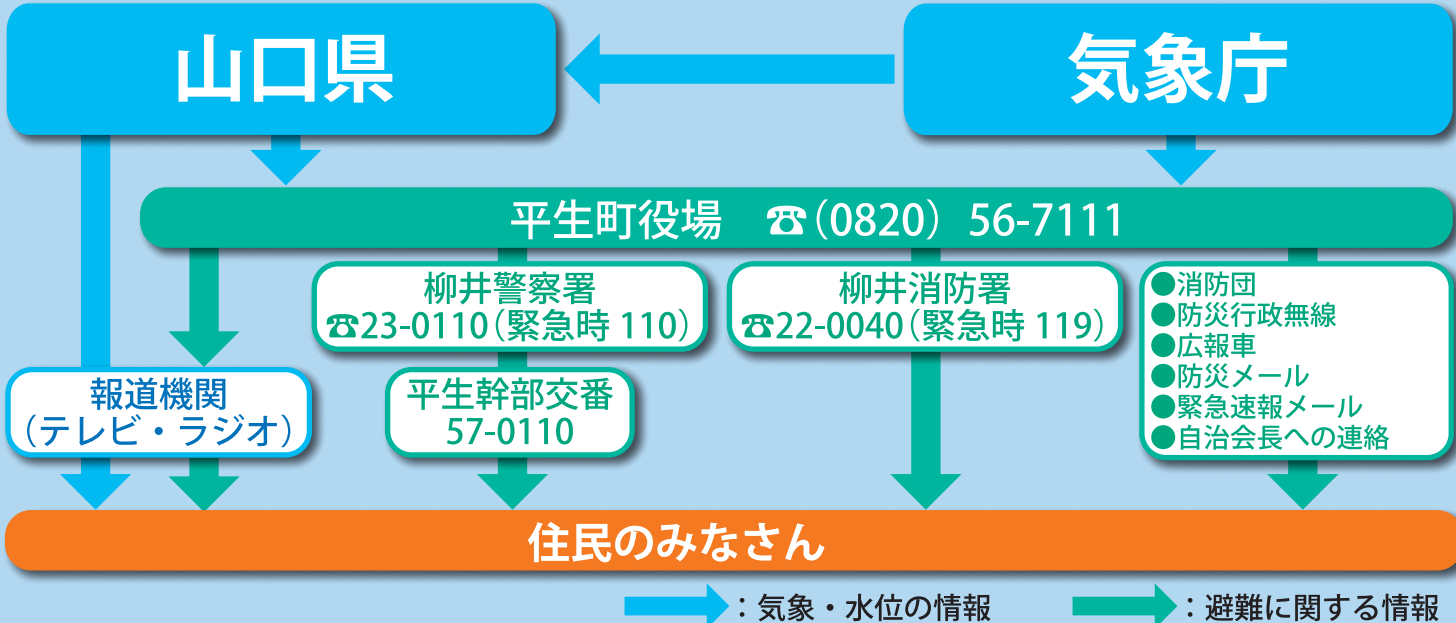
- 平生町役場
 - 平生町役場
- 山口県の情報
 - 山口県土木防災情報システム
 - 防災やまぐち
- 気象庁の情報
 - あなたの街の防災情報
 - 「山口県平生町」を選択してください。
 - 下関地方気象台

報道機関から取得

- テレビ
 - リモコンの「dボタン」を押すと災害情報を表示できます。
- ラジオ
 - 【周波数】
 - NHK第1放送 675kHz
 - NHK FM放送 84.0MHz
 - FM山口 77.9MHz
 - エフエムKRY 92.3MHz
- 電話で確認
 - 平生町総務課 (0820)56-7111
 - 平生町建設課 (0820)56-7118
 - 柳井警察署 (0820)23-0110
 - 柳井地区広域消防本部 (0820)22-0040

無線放送確認テレホン
(0820)57-0061
屋外スピーカーから流れた役場からの放送を電話で確認することができます。(消防のサイレンなどは除く)

情報の流れ



安全に避難するため、警戒レベルを参考にしましょう

水害や土砂災害の危険があるときには、町から警戒レベル3「高齢者等避難」、警戒レベル4「避難指示」を発令します。町からの避難情報に合わせて、速やかに安全な場所へ避難しましょう。

●警戒レベルと、みなさんがとるべき行動

▼※令和元年台風19号等を踏まえた避難情報及び広域避難等のあり方について(最終とりまとめ)参照

| 警戒レベル | 状況 | みなさんが取るべき行動 | 行動を促す情報 |
|----------------|--------------|------------------|------------------|
| 5 | 災害発生 又は切迫 | 命の危険 直ちに安全確保! | 緊急安全確保※1 |
| 警戒レベル4までに必ず避難! | | | |
| 4 | 災害のおそれ高い | 危険な場所から全員避難 | 避難指示 |
| 3 | 災害のおそれあり | 危険な場所から高齢者等は避難※2 | 高齢者等避難 |
| 2 | 気象状況悪化 | 自らの避難行動を確認 | 大雨・洪水・高潮注意報(気象庁) |
| 1 | 今後気象状況悪化のおそれ | 災害への心構えを高める | 早期注意情報(気象庁) |

※1町が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベルは必ず発令されるものではありません。
※2警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見直し始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。また、土砂災害の危険性がある地区では、屋内でも山と反対側に避難を行うことも必要です。



避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手し、特に災害発生のおそれがある場所に居る人は、早めの避難を心がけましょう。

- 状況により、すばやく避難しましょう**
避難情報などが発表されていない場合でも、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。
- 浸水時、自動車での避難は危険**
普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。
- 家族には連絡メモを残そう**
外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくと良いでしょう。
- 防災メモを持とう**
高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。
- 集団で助け合おう**
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
- 持ち出し品は最小限に**
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
- 安全なルートで避難**
避難先への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

要配慮者への避難支援

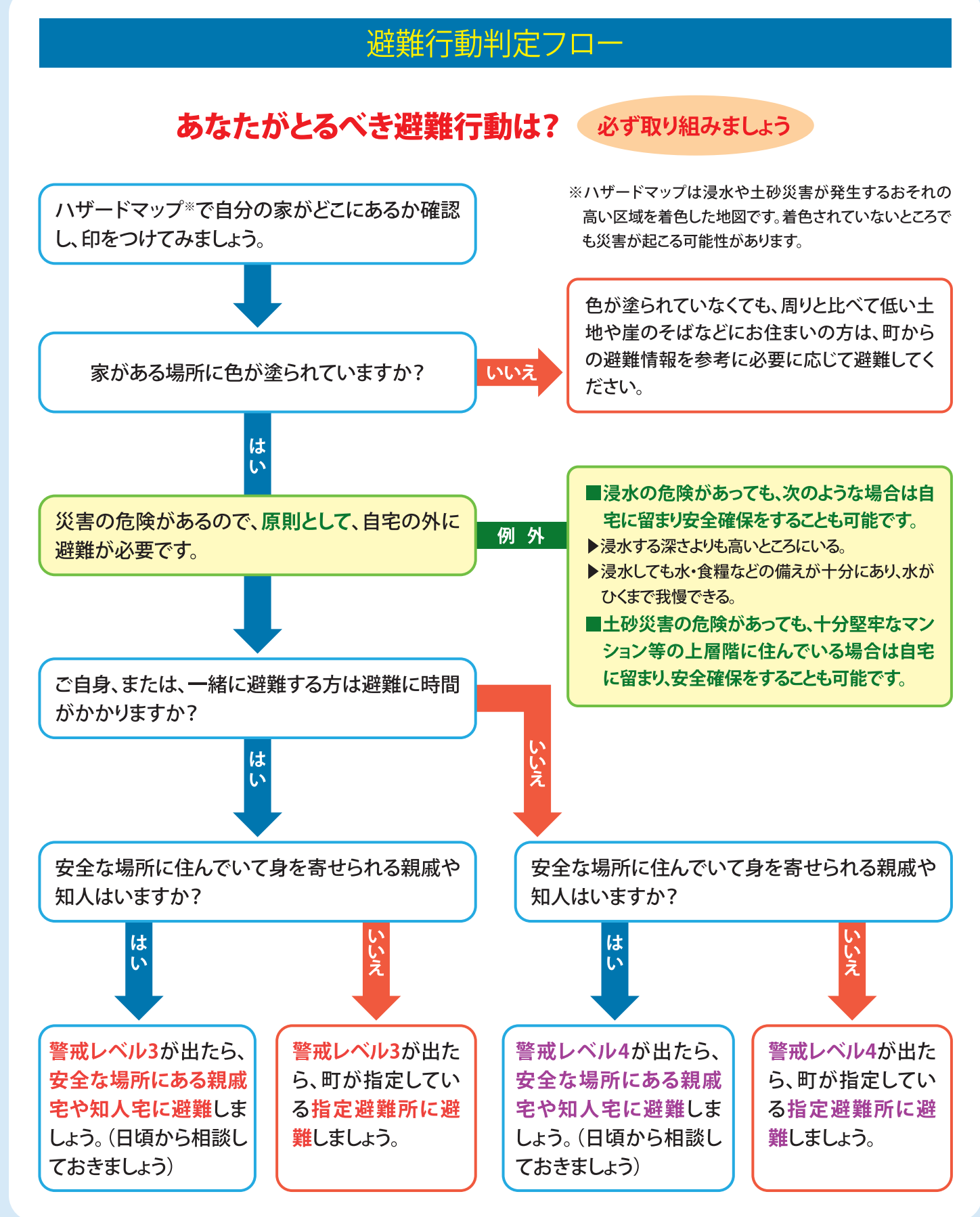
要配慮者とは、災害発生時に避難の手助けが必要な人々のことです。一般に高齢者や障害者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人などが該当します。地域で協力しあいながら、要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

- 高齢者・病人**
 - おぶって安全な場所まで避難する。
 - 複数の介助者で対応する。
- 目の不自由な方**
 - 声をかけ情報を伝える。
 - 誘導する場合は、杖を持った方の手に触れず、ひじのあたりを軽く持つもらい、半歩手前をゆっくり歩く。
- 肢体の不自由な方(車椅子)**
 - 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
 - 介助者1人1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。
- 耳の不自由な方**
 - 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
 - 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。
- 外国人**
 - 話すときも、やさしい日本語で話しかける。
 - 身振りや手振りでも話しかけ、孤立させない。

× 避難している
 ○ 逃げている
 → やさしい日本語に置き換えて伝える

避難行動判定フロー

台風や豪雨時にあわてずに避難をするためには、日頃から、周囲の災害リスクを把握し、いつ、どのような避難行動を取るべきか、事前に考えておくことが大切です。台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう。



風が強いとき・大雨のとき

風水害はある程度事前に発生を予測することができます。危険が迫ったら早めに避難しましょう。

風が強いとき

- 室内では**
 - 風圧や飛来物で、窓ガラスが割れ、破片が吹き込み危険があります。●外側から板でふさいで、内側から養生テープを×印に貼り、カーテンを引いておきましょう。
- 屋外では**
 - 看板が飛んだり、街路樹が倒れたりする危険があるため、近くの頑丈な建物の中に避難しましょう。●平均風速に比べて、1.5～2倍の瞬間風速に注意しましょう。
- 海辺では**
 - 転落や高波に巻き込まれる危険があります。沿岸に近づかないようにしましょう。●強風、豪雨時はサイレンなどの警報が聞こえつらくなりますので十分に注意しましょう。

大雨のとき…集中豪雨の頻発化などに象徴されるように、昔に比べて豪雨の発生が急増しています。

室内では

- 豪雨の際は、床下・床上浸水の危険があります。家財道具や貴重品を高い場所に移動しておきましょう。●浸水でエントランスなどは、無理に再始動させるとエンジンが傷みます。
- 車庫一面に水たまりができる。
- 道路が川のようになる。
- 水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。

車に乗っているとき

- タイヤを速くしても見づらくなる。
- 高速度走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。
- 山崩れ、かけ崩れが起こりやすくなり、危険地帯では避難が必要。
- 土石流が起こりやすい。
- 多くの災害が発生する。

| | やや強い雨 10～20mm未満 | 強い雨 20～30mm未満 | 激しい雨 30～50mm未満 | 非常に激しい雨 50～80mm未満 | 猛烈な雨 80mm以上 |
|------------|-------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 1時間雨量と予報用語 | | | | | |
| 人の受けるイメージ | ●ザーザーと降る。 | ●どしゃ降り。 | ●バケツをひっくり返したように降る。 | ●滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く) | ●息苦しくするような圧迫感がある。 |
| 人への影響 | ●地面からはね返りでも足もぬれる。 | ●傘をさしてもぬれる。 | ●傘はまったく役に立たなくなる。 | | |
| 屋外の様子 | ●地面一面に水たまりができる。 | | ●道路が川のようになる。 | ●水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。 | |
| 車に乗っているとき | ●タイヤを速くしても見づらくなる。 | ●高速度走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。 | ●山崩れ、かけ崩れが起こりやすくなり、危険地帯では避難が必要。 | ●土石流が起こりやすい。 | ●雨による大規模な災害の発生おそれが高くなる。 |
| 災害の危険性 | ●この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。 | ●側溝や水路、小さな川がふれる、道路冠水のおそれがある。 | ●小規模のかけ崩れのおそれがある。 | | |

内水氾濫と外水氾濫

通常、降った雨は水路や下水道(雨水)などを通して河川へ排水されています。

内水氾濫とは
降った雨が水路や下水道(雨水)などで排水できなくなるにより発生する氾濫です。

大雨が降り、排水能力が雨量に追いつかなかった場合に、内水氾濫が起こり始めます。

外水氾濫とは
川の堤防が壊れたり、堤防から水が溢れたりして発生する氾濫です。

さらに雨が激しく降ると、外水氾濫(洪水)の危険性が高まります。

内水ハザードマップと洪水ハザードマップ

内水ハザードマップ
短時間の強雨(集中豪雨やゲリラ豪雨)などにより、水路や下水道(雨水)から水が溢れる【内水氾濫】が発生した場合に想定される浸水範囲と深さを示したマップです。

洪水ハザードマップ
長時間の大雨(梅雨前線や台風)などにより、河川水が増水し、河川堤防から水が溢れたり、堤防が壊れる【外水氾濫】が発生した場合に想定される浸水範囲と深さを示したマップです。

風水害への備え

地域の自主防災組織の活動への参加
自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という、地域住民の連携により結成される防災組織のことです。災害発生時お互いの身を守るため、日頃から自主防災組織の防災訓練などの防災活動に参加しましょう。

家屋の風水害対策

- 屋根**
瓦のひび・ずれなどはないか。トタンのくめくれはがれはないか。
- 窓ガラス**
ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。
- ベランダ**
鉢植えや物干しざおなど飛散の危険性が高いものは室内へ。
- ブロック塀**
ひび割れや破損箇所はないか。
- 外壁**
外壁に亀裂はないか。板壁の場合、腐りや浮きはしないか。プロパンガスのボンベは固定されているか。
- 周囲**
家の周りに、流されて倒壊を誘ってしまうようなものはないか。
- 側溝**
目詰まりしていないか。雨水が速やかに排出されるか。

非常持出品 家族にあった持出品を書き出しておこう

- 軍手・手袋 □携帯電話・充電器 □雨具 □懐中電灯 □ビニール袋
- 貴重品・・・ □現金(小銭) □マイナンバーカード □口座番号のコピー
- 食料・・・ □飲料水 □食料(3日分)
- 衛生用品・・・ □常備薬 □生理用品 □洗面用具 □携帯トイレ
- 感染予防・・・ □マスク □体温計 □消毒液 □スリッパ
- 衣料品・・・ □下着 □くつした □タオル
- 赤ちゃん用品・・・ □ミルク □紙おむつ □おもちゃ
- 高齢者用品・・・ □持病薬 □お薬手帳 □紙おむつ

備蓄品 (在宅避難に備えて)

- 飲料・・・ □飲料水(ひとり1日3リットル)
- 食料・・・ □アルファ米
- 缶詰類 □レトルト食品
- インスタントラーメン
- あめ
- ※**保存食を日常的に消費し、食べた分だけ買い足していく「ローリングストック」がおすすめです。**
- 生活用品・・・ □携帯トイレ(ひとり1日5個)
- 使い捨ての皿・コップ
- カセットコンロ・ボンベ
- ラップ
- アルミホイル

※準備したものに☑チェックを付けましょう。